

令和2年度 埼玉県共助社会づくり支援事業 (地域密着の住まいづくりファイブイズホーム共助社会づくり支援事業)

助成事業

コロナ時代の地域観光を考える
～川越・前橋・横浜 絹の道WEBサイト作り

助成団体

特定非営利活動法人 川越きもの散歩

事業内容

- ①コロナ禍での観光 新たな提案。
- ②前橋・川越・横浜の歴史・文化を知り、
交流するためのWEBサイトの作成

英国人きもの研究家のシーラクリフのコンテンツも作成し、英語による配信。

前橋・川越・横浜絹のものがたり

絹の
ものがたり
silk story

MAEBASHI
KAWAGOE
YOKOHAMA

絹のものがたりホーム

前橋特集

川越特集

横浜特集



前橋・川越・横浜

絹のものがたり

絹文化ゆかりの「歴史」と「ひと」をつなぐ



3都市の絹の物語



幕末から明治にかけて日本の近代化をけん引した製糸、織物産業でつながっていた前橋、川越、横浜3市の人・史跡・観光施設を紹介するウェブサイト「前橋・川越・横浜 絹のものがたり」(https://silk-story.jimdo.free.com/)が完成した。きものを通じたまちづくりに取り組むNPO法人「川越きもの散歩」代表の藤井美登利さん(59)と、英国籍のきもの研究者で十文字学園女子大学教授のシーラ・クリフさん(59)の2人が現地取材し、3都市の数奇な物語の案内役を務める。(中里宏)

藤井さん、シーラさんが案内



ウェブサイトをつくった藤井美登利さんとシーラ・クリフさん＝川越市で

ウェブサイト完成

江戸時代から生糸の集散地だった前橋では、富岡製糸場より二年早い一八七〇(明治三年、日本最初の洋式製糸所「藩営前橋製糸所」が操業を始めた。廃藩置県の前、スイス人技師から機械製糸を学んで同製糸所をつくったのは、川越藩士から移封で前橋藩士となった速水堅曹らだった。速水は富岡製糸場の所長も務めて経営をたて直し、黒字化するなど日本の製糸業の第一人者となった。絹織物の集積地として栄えた川越。市街地の大半は

前橋・川越・横浜の人・史跡など紹介

「時の鐘」の再建には、原善三郎、平沼仙蔵、茂木商店(茂木惣兵衛)ら、生糸で財を成した横浜の名だたる実業家が多額の寄付金を出していた。幕末から明治にかけて江戸で大流行した絹木綿「川越唐棧」は、横浜で英国製の高品質の木綿糸を見つけた川越商人が織らせたのが始まりだった。

ウェブは埼玉県の助成を受けて作成。絹でつながる市民団体やユニークな活動をする市民らのインタビュー記事や、シーラさんの英文コラムも掲載される。藤井さんは「コロナ禍の時代に地元の昔の話を知り、仲間づくりのきっかけに活用してもらいたい」と狙いを語る。シーラさんは「日本のシルクロードは横浜につながる。見えてくる。

埼玉

全国主要新聞への折り込み 取り扱い

折込 折込

折込広告なら 朝日オリコミ >>>埼玉支社<<<

048-657-1971 月～金 9:30～18:00 www.asaori.co.jp

県内の天気

	きょう	あす
さいたま		
熊谷		
秩父		

きょうの子想 (さいたま)

降水確率 朝10% 昼10% 晩10%
気温 最高17度 最低3度

北のち南の風

さいたま支局 〒330-0063 さいたま市浦和区

事業の成果

- 1 地元住民も知らない、埋もれていた「3都市の絹のものがたり」を俯瞰できるWEBサイトが完成した。
- 2 朝日・読売・東京新聞・ヤフーニュース・英文サイトなどで紹介され、3都市の絹のものがたりが広く拡散された。

今後に向けて

- 1 コロナ終息後に、3都市の関係者の交流会を開催する。
- 2 前橋・横浜でシーラさんのミニ講演と絹遺産めぐりの開催する。
- 3 内閣府迎賓館担当よりきものイベントの企画相談。